

建物及び設備の主な石綿使用状況（平成29年3月31日現在）

対象	使用箇所	使用状況	対応状況
吹付け石綿	自社建物 ・事務所建物の設備機器室/ 予備電源室 ・変電所の変圧器室 供給用変圧器室 ・供給用変圧器室などの 壁面や天井	28 ( 30 )棟 (うち1棟はひる石吹付け*など) 5 ( 8 )ヶ所	・吹付け石綿を利用している自社建物のうち、 28 (29)棟は封じ込め等の飛散防止処理済み ・吹付け石綿は通常、施錠した室内のため、 第三者の接触などによる飛散の恐れなし ・定期的に劣化度調査・浮遊濃度測定を行い、安全を確認。 順次撤去中
石綿含有製品	保温材	約 6 万* <sup>2</sup> ( 6 万)m <sup>3</sup>	・成形品のため、通常状態において飛散性なし ・定期検査や修繕工事などの機会に合わせて、 順次非石綿製品へ取り替え予定
	シール材 ジョイントシート	約 60 万* <sup>2</sup> ( 60 万)個	
	あて板	約 96 万( 96 万)個	・お客さま宅内に取り付けた設備として、昭和63年以前製造の 単相2線式30Aブレーカーの裏側に「あて板」として使用され ているものあり ・成形品であり、加えて金属板に覆われているので飛散性はなし ・使用上、安全には問題ないが、お客様のご要望に応じて 改修を実施している
	その他	・上記以外にも石綿を含んだ建材、防音材、耐熱・耐火板などを建物および設備に使用 ・いずれも成形品であったり、機器の内部で使用されているなど、通常状態において飛散性はないが、 定期検査や修繕工事などの機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替え予定	

括弧内の数字は昨年実績(平成28年3月31日)

東京電力グループの合計。東京電力グループとは、東京電力ホールディングス、東京電力パワーグリッド、東京電力フュエル&パワー、東京電力エナジーパートナーの4社を示す。

\* ひる石吹付け 吹付け石綿に比べ、極薄く吹付けた石綿含有率の低い仕上げ用吹付け材